



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒

<No. 8> 令和7年10月31日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13
TEL 048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)
<https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

集団活動の意義と大人のサポート

校長 小倉 弘一

テレビでコメディアンが学園物のコントをしていた。優等生の女子生徒役が、ふざけて遊び始めた男子生徒役に対して「ちゃんと掃除をしてよ！」と泣きべそをかく。その場面を観客の多くが笑っていたということは、観客も幼い頃にこうした人間関係の摩擦に出くわした経験があるからだろう。

集団活動は様々なトラブルが多様な形で発生し、避けて通ることはできません。社会人になっても同様ですが、大人になってからの人間関係トラブルは、特に大きな痛みを伴いやすいものです。だからこそ、まだ小・中学生のうちから社会の縮図である学校生活で、トラブルに向き合い、解決するための学びの場があります。そのため、以前から全国の学校現場では、あえて生徒たちが人間関係の渦中に入り、試行錯誤できる学びの場を数多く設けてきました。先述の清掃や、部活動や様々な学校行事等がそれにあたります。

文科省が定める学習指導要領でも、集団活動について、単に知識を学ぶだけでなく体験と実践を通して、生徒が生きていく上で必要な資質・能力を育むことを目指しています。

未完成な子どもたちにとって試練の機会になるでしょう。互いに未熟な中学生は成功ばかりではなく、時として互いに傷を負うことがあります。しかし、時に失敗を伴う経験を通して、自分の力で円満な関係維持や関係修復を図る力を身に付けてこそ、真の成長があります。

支える大人にとって子どもに手を差し伸べる愛情は大切なものです。それと共に、子どもが大きな傷を負わぬよう注意しつつ、寄り添いながら見守る姿勢も大切なものです。



本校の駅伝チームの生徒たち。R7.10.21(火)市駅伝競走大会を終えて

本校学校ホームページの「今週の1枚」コーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。※ユーザー名とパスワードは、学校安心メールとスクールでお知らせ済みです。



